



第12回大会総括

東京理科大学機械工学研究会
TUS Formula Racing
<http://www.tusfr.com/blog.html>



Presentation プレゼンテーション

マシン名：TFR10

私たちは今年度のチームの目標を「総合順位5位」をめざして1年間活動してきました。私たちは、昨年度車両TFR09は多くのことに新しく挑戦をしたため、改修する部分が多くあると考えました。そこで、今年度車両TFR10においては、それらを克服できるよう設計・開発を行いました。そこで私たちは、大会結果を基に主に旋回性能・信頼性の向上に重点を置くことにしました。また、昨年度は試走を十分に回数をこなすことができなかつたため、昨年度より早期にシェイクダウンを行なうことをめざしました。

車両設計・製作、試走において準備不足や確認不足、その他さまざまな問題が生じて結果として計画どおりに進めることができませんでした。しかし、学部生だけのチームとして知識不足ながらも積極的にトラブルシューティングに取り組んできました。そういったことが私たちの強みであると考えています。

Participation report 参戦レポート

今年度は、チームとして設計や部品の完成などが遅れ、本来目的としていた日程で進めることができず、試走を十分に重ねたとは言えない状態で大会を迎え、満足のいく結果を得ることができませんでした。

初日の事前車検では、いくつかの項目において指摘を受けてしまったため再車検を受けることになってしまいました。そのためその日のうちにすべての指摘項目に対して対策を行ない、翌日の再車検では無事に通過することができました。

静的審査では、それぞれにおいて審査開始寸前まで準備を行ない、1点でも多く得点できるよう努力しました。結果として、デザインでは昨年度より順位を下げてしまいましたが、コスト、プレゼンテーションにおいて順位を上げることができました。

動的審査では、3日目に大会以前とマシンの挙動が異なるトラブルが発生してしまい、オートクロスに前に必死に調整を行ない走行に挑みました。しかしセッティングを決めきれず、試走会で出せたベストタイムにはおよびませんでした。またエンデュランスにおいては、1周余分に走ってしまうというトラブルやレインコンディションということがあり、ラップタイムが多くなってしまいました。しかし今年もエンデュランスを完走することができ、4年連続で全種目完走を果たしました。

大会結果は昨年度より順位を下げ、総合15位という結果となりました。目標順位には遠くおよびませんでした。今年の反省を生かし、来年につなげていきたいと思っております。

今回の総合結果・部門賞

●総合15位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たちのチームは、第3回大会より出場し今年度で10回目の参加となります。第9回大会にて初全種目完走を果たし、それ以降毎年完走し続けています。昨年度はチーム最高順位の総合9位を獲得し、今期はそれを越えることを目標に活動してきました。

Team-member チームメンバー

川合 剛史 (CP)

川口 靖夫 (FA)、岡田 裕 (FA)、松崎 亮介 (FA)、木村 郁仁、川辺 聖哉、塚本 悠太郎、長沢 仁史、吉山 光佑、森山 達、青山 由夏、明智 ゆき、金子 龍一、桐木 真由、小崎 栄里子、酒匂 翔洋、澤田 明日香、神野 育人、高橋 真祐子、竹中 慎太郎、前田 寛喜、楊 塵、岩埜 弘夢、岡 魁人、川邊 崇巧、小原 忠篤、古波 大輝、平戸 健介、松本 華子、三橋 健、八島 渉、李 俊一

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、コンチネンタル・オートモーティブ、ZFジャパン、住友電装、ケーヒン、グループ・エム、デンソー、丸紅情報システムズ、三恵技研工業、エムエフマツモト、リオン、昭立製作所、深井製作所、quick羽生、協和工業、ニッポン機工、日本プレート精工、栄鋼管、NTN、東京R&D、日信工業、ユタカ技研、新星機工、ソリッドワークス・ジャパン、東日製作所、富士精密、その他HPにて掲載